

## 調査的面接の基礎

作成：田中重人 (東北大学文学部 准教授)

### 1 『講義概要』 記載情報

- ◆ 到達目標：(1) 面接調査の長所と短所を把握する；(2) 面接調査の実際のプロセスについて、体験を通して習得する
- ◆ 授業内容・目的・方法：面接法による質的調査の方法についての講義と実習をおこないます。講義では、面接調査の基本的な方法とプロセスについて解説します。実習では、受講者が各自の選んだ研究テーマに沿って文献収集をおこない、面接調査を実施し、その結果をレポートとして提出します。
- ◇ 教科書：松浦均・西口利文 (2008) 『観察法・調査的面接法の進め方』 ナカニシヤ出版。
- ◇ 成績評価の方法：授業中の課題 (50 %)、調査結果に基づく口頭発表とレポート (50 %)
- ◇ その他：2 学期開講の「質問紙調査の基礎」も履修することが望ましい

### 2 授業予定

- (1) イントロダクション (4/11)
- (2) 調査的面接の概要 (4/18)
- (3) 調査的面接の方法 (4/25) → 各自で面接を行い、スクリプトを書き起こす
- (4) 結果について各自報告 (5/9)
- (5) 対象者の選びかた (5/16)
- (6) シナリオの作成 (5/23)
- (7) 各自のテーマに沿って調査計画を発表 (5/30, 6/6) → これ以降、各自で調査を進める
- (8) スクリプトの作成 (6/13)
- (9) インタビュー内容の分析 (6/20)
- (10) レポートの書きかた (6/27)
- (11) 調査結果について各自報告 (7/4, 7/11)
- (12) 調査の倫理 (7/18)

レポート×切: (8/16)

レポート返却: (9/10 以降)

( ) 内の日付は、学期前のおおよその計画をあらわしているが、実際の授業の進行状況によって前後にずれることがある。

### 3 他者紹介

- 2人ペアをつくって、相手のことを互いに聞き取り、メモを取る
- 聞き取った内容に基づいて、2分以内で相手を紹介